



「遠く地の果てまで」 © EISHI HAMAGUCHI

令和元年度勝央美術文学館夏期特別展

# 濱口瑛士の世界

## 少年画家の内なる宇宙

2019

7/20 SAT - 9/8 SUN

開館時間 / 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日 (但し8/12 ㊤は開館、8/13 ㊤が休館)

会場 / 勝央美術文学館町民ギャラリー1

観覧無料

主催 / 勝央町、勝央町教育委員会

後援 / 勝央町文化協会、(公財)美作学術文化振興財団

勝央美術文学館  
SHOO MUSEUM OF THE ARTS

〒709-4316  
岡山県勝田郡勝央町勝間田207-4  
Tel. 0868-38-0270 / Fax. 0868-38-0260





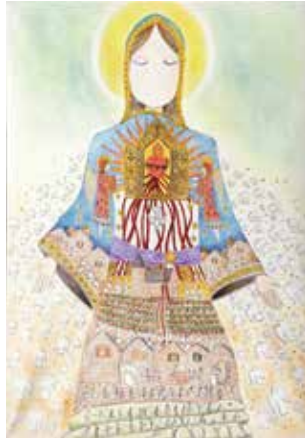
# EISHI HAMAGUCHI EXHIBITION

東京大学先端科学技術研究センターと日本財団の共同プロジェクト「異才発掘プロジェクト ROCKET」第1期スカラー候補生で、画家として活躍中の濱口瑛士さん。小さい頃から、言語感覚に独特の感性を持ち、自分の内なる世界を卓越した繊細な描写感覚で、緻密かつ自由なドローイング表現で作品を生み出し続けています。

現在、絵本の出版など幅広く活躍している濱口さんの小学生、中学生時代の作品から最新作まで20点あまりを一堂に展示紹介する中国地方では初の展覧会です。濱口瑛士の静謐で心豊かな世界をぜひ一緒に旅してみませんか？



『ダビッコラと宇宙へ』© HAKUSENSHA



「希望なくして生きていくことはできない」  
© EISHI HAMAGUCHI



『貧しい人々は幸いである』© EISHI HAMAGUCHI



## 濱口 瑛士 / EISHI HAMAGUCHI

少年画家。2002年東京都世田谷区生まれ。「異才発掘プロジェクト ROCKET」第1期スカラー候補生。3歳頃から絵を描き始め、物語を作ることも得意。

2015年に初の作品集『黒板に描けなかった夢〜12歳、学校からはみ出した少年画家の内なる世界』（ブックマン社）を、2017年、2作目の作品集『書くことと描くこと』（ブックマン社）が出版。

2018年6月、初めての絵本『ダビッコラと宇宙へ』を雑誌MOE（白泉社）にて発表。11月に単行本として刊行された。同年出版の赤木かの子・著『ともだちって どんなひと？』（埼玉福祉会）では、挿絵を描いている。

公式サイト「濱口瑛士の世界」<https://www.eishi-hamaguchi.com/>

### 関連イベント

- アーティスト・イン・レジデンス+作品展 ● 第8回街道祭
- 濱口瑛士の世界 -ART IN SHOO-

第8回街道祭 -ART IN SHOO- の招待作家として勝央町にて公開制作！

9月7日・8日 10時～15時  
会場／旧勝央町郷土美術館  
入場無料

9月7日・8日 10時～15時  
会場／出雲街道勝間田宿  
※雨天決行

### 同時開催

- コレクション展vol.41郷土の画家シリーズ 7月20日～9月8日 10時～18時
- 緑陰の— (入場は17:30まで)
- 小企画 会場／勝央美術文学館展示室・特別展示室
- 半七とホームズII〈第2期〉 観覧料／一般200円 学生150円
- 小・中学生100円 65歳以上無料



- JR岡山駅（津山線で約1時間）  
→津山駅（姫新線20分）→勝間田駅下車徒歩15分
- 中国ハイウェイバス中国勝間田下車すぐ
- 中国自動車道勝央ICより約5分／津山ICより約15分  
／美作ICより約10分

勝央美術文学館 SHOO MUSEUM OF THE ARTS  
〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田207-4  
Tel.0868-38-0270 / Fax.0868-38-0260  
<http://museum.town.shoo.lg.jp>

ホームページ

